

## 健康な足と快適な靴のはなし

### インソールを自前で作るまでに



フットクリエイイト代表  
櫻井寿美さん

#### Profile

自身の足のトラブルから「足と靴」の仕事に興味を持ち、1996年2月にフットクリエイイトを設立。「足と靴」との関わりについての研究を通じ、足元から健康を提唱している。自分の足で歩ける幸せを、多くの人へ伝えることがライフワーク。

インソールの説明から始める日々

店を始めた当時は自分たちでインソールを作る手立てがなく、インソールを作るには今よりお金も時間もかなりかかりました。お客さまには、いわゆるサイズ調整のインソールとは違うということの説明から始めなければなりません。当時、棚は一つしかなく、靴はすべてドイツからの輸入。色は黒か茶色、形も先が丸いデザイン1種類のみ。そんな状態だったので、お客さまの理解を得るまでには時間が必要でした。

ただ、私たちの話に納得していただき、靴やインソールを作られたお客さまからは、「今までとは全然違って、歩くのが快適」「自分で歩けるようになってきました」と感謝され、その声に支えられてやってこれたと思います。本当に足のごことで困っておられる方が多

いということを目の当たりにして、「この仕事は必要なんだ。広めていかなければいけない」と感じました。

ドイツでの出会いがターニングポイント

開店から1年経ったころ、夫と二人ドイツへ渡り、靴の企業や店を回り、フットケアの学校などへも通いました。そのとき、現在使用しているインソール製造機を作っているペドキャド社と出会ったのです。当時また職人が手作業でインソールを成形していたなかで、コンピュータを使ってインソールを製造するソフトや機械を作ったベンチャー企業でした。機械を見たとき「これが店にあれば、自前で全部できる!」と思いました。その数年後に機械を購入。店舗を路面店に移転し、靴の種類も増やしました。

### 今回のお客さま

#### Counseling of the foot

本誌のDTPオペレーションを担当する森すみ絵さんが、カウセンリングを受けました。スタッフの櫻井一男さんが、フットスキャナーでとった足型を見ながら説明します。「縦アーチの高さがあまりないですね。扁平足ではないですが、かなりそれに近い状態です。土踏まずは足のクッション、バネの役目をしていて、地面からの衝撃を吸収しています。土踏まずがないとバネが働かず、体が衝撃にさらされるので、疲れたりしんどくなりやすいです」。

「それから、やや右足荷重ですね。右足の負担が大きく、筋肉の使い方が不均等になってきます。右足の方に高さを加えた方がいいかもしれません」。

森さんは「整形の先生に言われたこととほぼ同じです。子どものころから、左右の足の長さが少しだけ違うように感じていました」と、足型から体の問題がわかって驚きのようです。足と体に負担のない靴を選ぶことの大切さをあらためて感じたようです。



#### New item introduction

ゴアテックスで、つま先が足なりのデザイン。ひもで調節できるので足にしっかりフィット。REGERO(レジェロ)のコンフォートシューズ 27000円(税別)

#### フットクリエイイト

京都市下京区間之町通上珠数屋町下打越町318 / ☎ 075-365-3748  
10時~18時(予約の場合~20時) / 定休日:月、祝 / www.footcreate.com

